

東京都COVID19感染症透析医療入院病床アンケート（4月10日時点）

東京都区部災害時透析医療ネットワーク	代表	酒井 謙
三多摩腎疾患治療医会	理事長	菊地 勘
東京都透析医会	災害対策委員長	要 伸也
	会長	尾田高志
	災害対策委員長	安藤亮一
		花房規男

①現時点COVID-19入院受け入れ可能は、**89**施設中 **28**施設（**31.5%**）
稼働可能病床：のべ**26**床

②東京都からの要請があれば、現時点で受け入れ不可能施設の**33%**の**19**施設が入院受け入れ可能と表明
稼働可能病床：のべ**32**床（中等～重症）

* ① + ② = **57**床が、最終的に東京都の潜在的な入院可能病床数と推測される。

③区部外来受け入れ可能は、**82**施設中 **32**施設（**37%**）
稼働可能透析ベッド：のべ**33**床（1施設1床の割合）

* 自施設・関連施設の患者発生は自施設で対応可能、外部からの受け入れが可能は、入院施設で**15%**、外来施設で**1%**にとどまる。